

認知ケアグループ 3 平成 30 年度 第 4 回 議事録

【年間テーマ：認知症の方に対する抑制への対応】

平成 30 年 11 月 29 日提出

日付	平成 30 年 11 月 17 日 (土)			
場所	天神 福岡ビル 9F		記録者：米村 裕志	
出席者 (敬称略)	緑ヶ丘病院病 松崎 秀昭	北九州湯川病院 川端 昭憲	北九州湯川病院 酒井 明美	有古病院 栗原 悠
	北九州古賀病院 川越 靖子	古森病院 戸村 麻衣子	社会保険稻葉病院 伊藤 雄一	北九州八幡東病院 三小田 恵理
	大牟田共立病院 米村 裕志			
テーマ	センサーベッド・マットに対する意識調査の結果発表及びまとめ			
結論	<p>意識調査アンケート『センサーマット・ベッドを「抑制」と思うか？その理由 センサーマット・ベッド対応時の声掛け 使用対象患者 使用目的』</p> <p>結果：全体の 5 割強が抑制と考えその理由に患者の行動制限に当たる為が多かった。4 割は抑制とは考えず、その理由に転倒転落リスク、体動アセスメント、N-C の代わりなどがあつた。また残りの 1 割弱はわからない、どちらとも言えないとなつた。</p> <p>センサーマット・ベッドは身体抑制において「グレーゾーン」 スタッフの対応次第で抑制にもなり得る</p>			
決定事項	<p>意識調査アンケート結果の掘り下げ</p> <p>患者が苦痛と感じない対応</p> <p>スタッフの意識付け</p>			
備考				
次回討論項目	身体抑制にならないセンサーマット・ベッド対応について			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

FAX. 092-691-3961

E-mail info@fukuokakenryo.jp